



平成 27 年 4 月 24 日

各 位

会 社 名 ジオスター株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 栗山 実則
 (コード番号 5282 東証第 2 部)
 問 合 せ 先 執行役員
 経営管理部経理チームリーダー
 古橋 義孝
 (TEL 03-5844-1201)

子会社株式評価損の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 2 月 27 日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。また、予定額として公表しておりました「子会社株式評価損」の金額が確定しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 子会社株式評価損の計上及びその内容

平成 27 年 2 月 27 日付「子会社株式評価損の計上（予定）及び業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表の通り、当社の連結子会社であるレスコハウス株式会社の平成 27 年 3 月期決算は、当期純損失の計上となり、純資産額が著しく低下するため、平成 27 年 3 月期個別決算において、「子会社株式評価損」として 443 百万円を特別損失に計上することとなりました。

なお、当該計上金額は、同社における収益改善計画の早期取り組みにより、前回公表の予定額（約 480 百万円）から改善されました。また、「子会社株式評価損」は、連結決算においては消去されるため、連結業績への影響はありません。

2. 平成 27 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

（金額単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	19,700	△580	△490	△460	△14円70銭
今回発表予想（B）	19,887	△325	△276	△267	△8円53銭
増減額（B－A）	187	255	214	193	—
増減率（%）	0.9	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （平成 26 年 3 月期）	23,441	244	291	155	4円98銭

3. 平成 27 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

（金額単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	14,300	△260	△175	△640	△20円46銭
今回発表予想（B）	14,503	△78	△22	△510	△16円30銭
増減額（B－A）	203	182	153	130	—
増減率（%）	1.4	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （平成 26 年 3 月期）	16,646	130	209	112	3円61銭

4. 修正の理由

(個別業績予想)

売上高は2億円の増収となり、145億円となる見通しです。

営業利益及び経常利益は、売上高の増加に加え、大型プロジェクトの生産開始もあり、赤字幅は大幅に圧縮される見通しです。

また、当期純利益は、上記の増益要因に加え、1の「子会社株式評価損の計上及びその内容」に記載の通り、特別損失が減少する事もあり、対前回1.3億円改善の5.1億円の損失となる見通しです。

なお、今期の土木事業全体の受注高につきましては、大型の道路プロジェクト向けセグメント、一般下水道向けセグメント、前期に開発したハイブリッド構造を含んだ防潮堤などにより、対前期大幅に増加する見通しです。

当該受注高は、前回公表額(約350億円)に対し、東京外かく環状道路合成セグメントの一部受注が加わったこともあり、過去最高の約450億円(対前期約2.9倍)となる見通しです。

(連結業績予想)

個別業績の改善に加え、1に記載のレスコハウス株式会社を始め子会社業績の改善もあり、連結の売上高は前回見通しに対し増収となり、営業利益、経常利益及び当期純利益の赤字幅は圧縮される見通しです。

(注) 上記予想は、現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上